

第2節 予防対策

1 感染症予防

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症に対する正しい知識の普及啓発を行うとともに感染症の発生予防やまん延防止のため、感染症の発生情報を提供している。また、感染症の診断を行った医師からの届出を受けて、患者・家族等に対する積極的疫学調査を行い、接触者の健康診断及び保健指導を実施し、感染拡大の防止に努めている。

(1) 1～3類感染症及び新型インフルエンザ等感染症の発生状況

① 年度別発生状況

(単位：件)

分類	疾患名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 類	エボラ出血熱、ペスト等	患者等	－	－	－	－	－
2 類	急性灰白髄炎	患者等	－	－	－	－	－
	ジフテリア	患者等	－	－	－	－	－
	重症急性呼吸器症候群	患者等	－	－	－	－	－
	結核	患者等	46	47	44	36	39
	2 類感染症	小計	46	47	44	36	39
3 類	腸管出血性大腸菌感染症	患者	3	18	10	4	3
		無症状病原体保有者	－	3	3	1	4
	コレラ	患者等	－	－	－	－	－
		無症状病原体保有者	－	－	－	－	－
	細菌性赤痢	患者	－	－	－	－	－
		無症状病原体保有者	－	－	－	－	－
	腸チフス	患者	－	－	－	－	－
		無症状病原体保有者	－	－	－	－	－
	パラチフス	患者	－	－	－	－	－
		無症状病原体保有者	－	－	－	－	－
3 類感染症		小計	3	21	13	5	7

② 月別発生状況

(単位：件)

分類	疾患名	令和 6 年										令和 7 年			計
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
1 類	エボラ出血熱、ペスト等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 類	結核	6	4	3	2	4	2	1	2	4	2	4	5	39	
	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ジフテリア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 類	腸管出血性大腸菌感染症	-	1	-	1	1	2	2	-	-	-	-	-	7	
	コレラ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	細菌性赤痢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	腸チフス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	パラチフス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(2) 集団感染（疑）事例の発生・対応状況

(単位：件)

感染症の種類	病原体の種類	施設の種別				発生件数
		医療機関	高齢・障がい福祉施設	保育園	その他	
感染性胃腸炎	ノロウイルス	-	-	10	-	10
	アデノウイルス	-	-	1	-	1
	その他・不明	-	3	33	-	36
インフルエンザ	インフルエンザウイルス	5	2	-	-	7
新型コロナウイルス感染症 (クラスター)	新型コロナウイルス	18	24	-	1	43

(3) 感染症予防啓発（健康教育・研修会など）

① 感染症対策従事者研修会

1) 学校・社会福祉施設対象

テーマ	集団生活における感染症対策
日 時	①令和6年8月22日 10:00～11:30（管理者対象） ②令和6年9月27日 14:00～15:30（一般職員対象）
対象者	市内の保育・教育・福祉等関係者
講 師	保健所保健予防課職員
参加者数	①42人 ②46人

2) 医療従事者対象

テーマ	麻しんの診断、治療及び医療機関における感染拡大防止対策について
日 時	令和6年11月28日 15:00～16:00
対象者	市内の医療機関従事者
講 師	独立行政法人りんくう総合医療センター 総合内科・感染症内科部長 兼 感染症センター長 倭 正也 氏
参加者数	41人

当課で企画している研修会以外にも、団体・施設から依頼のあった研修会に講師として出動している。

② 感染症対策実務担当者連絡会議

1) 医療機関

内 容	①情報提供「感染症の発生動向について」「大津市感染症予防計画の概要について」 グループワーク「感染症発生想定机上訓練」 ②情報提供「感染症の発生状況について」「大津市新興感染症発生時対応訓練について」 グループワーク「感染対策マニュアルの共有」「感染対策研修・訓練についての情報共有」
日 時	①令和6年6月4日 14:00～15:30 ②令和7年1月20日 14:00～15:30
対象者	市内病院の感染管理認定看護師・感染症対策担当者、大津市訪問看護ステーション連絡協議会
参加者数	①18人 ②19人

2) 庁内関係機関

内 容	・情報提供「大津市感染症予防計画について」「感染症SIDRの活用について」 ・情報交換「感染症集団発生時の所管課の役割について」「各課の感染症対策の取組みについて」
日 時	令和6年8月8日 10:00～11:00
対象者	庁内関係課
参加者数	5人

3) 高齢・障害福祉施設対象

内 容	講座「社会福祉施設における感染症対策 ～新型コロナウイルス感染症・感染性胃腸炎を中心に～」 デモンストレーション「下痢をしている利用者のオムツ交換」 講師：大津赤十字志賀病院 感染管理認定看護師 前田 朋美氏
日 時	令和6年10月3日 14:00～16:00
対象者	市内の高齢者及び障がい者施設（入所型）の従事者
参加者数	40 人

(4) 高病原性鳥インフルエンザ対応研修

「高病原性鳥インフルエンザ人の健康観察実施マニュアル」に基づき、保健所職員を対象に研修を実施している。また、県内及び市内における高病原性鳥インフルエンザの発生を想定した訓練・研修にも参加している。

開催日	参加者（人）	内容
令和6年 11月1日	保健所職員 39人	【高病原性鳥インフルエンザ発生時対応研修会】 ・高病原性鳥インフルエンザ等及び危機管理体制について ・高病原性鳥インフルエンザ発生時の保健所の役割について ・養鶏場等における高病原性鳥インフルエンザ発生時の従事者の業務について

2 結核予防

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、結核患者発生時対策、療養支援、接触者健康診断、登録患者の管理等を行い、結核の発生予防及び患者の早期発見から感染拡大防止を図っている。

(1) 感染症法第37条の規定による結核医療費の被保険者等別公費負担の状況

(単位：件)

区 分	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者 医療保険	生活 保護法	その他	合計
	本人	家族	一般	本人	家族				
前 年 末 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新規承認数	3	-	-	-	-	6	1	-	10
解 除 数	3	-	-	-	-	6	1	-	10
本 年 末	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※入院勧告を実施した場合における当該患者が感染症指定医療機関において受ける医療に要する費用を公費負担するもの（令和6年1月～令和6年12月末）。

(2) 感染症法第37条の2の規定による結核医療費の被保険者別公費負担の状況

(延件数)

区 分	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者 医療保険	生活 保護法	その他	無保険	合計
	本 人	家 族	一般	退 職 本人	家族					
申 請	13	2	6	-	-	17	1	-	-	39
承 認	13	2	6	-	-	17	1	-	-	39
不承認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※結核患者が結核指定医療機関において厚生労働省で定める医療を受けるために必要な費用の95%に相当する額を公費負担するもの（令和6年1月～令和6年12月末）。

(3) 結核新登録状況

新登録患者状況（年齢階級別）

(単位：人)

年齢 区分	新登録患者		活動性結核							潜在性結核 感染症 (別掲)
			活動性肺結核						肺外 結核	
	患者数	罹患率	総数	喀痰塗抹陽性			その他の 結 核 菌 陽 性	菌陰性 ・ その他		
				初回 治療	再治療	計				
0～4 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
5～9 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19 歳	1	6.0	1	-	-	-	1	-	-	-
20～29 歳	6	18.4	5	1	-	1	1	3	1	1
30～39 歳	1	2.8	1	1	-	1	-	-	-	2
40～49 歳	1	2.2	1		-	-	1	-	-	2
50～59 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
60～69 歳	3	7.2	2	-	-	-	2	-	1	-
70 歳以上	15	19.8	9	3	-	3	5	1	6	1
合計	27	7.9	19	5	-	5	10	4	8	8

(令和6年1月～令和6年12月末)

(4) 結核登録者状況

登録者状況（年齢階級別）

（単位：人）

区 分	登 録 患 者		活 動 性 結 核								有病率 (人口 10 万対)	不活動性 結 核	不明	潜在性 結核 感染症 (別掲)
			活動性 結核総 数	活 動 性 肺 結 核						肺外結核				
	肺結核総 数	登録時喀痰塗抹 陽性			登録時その 他の結核 菌陽性	そ の 他								
		初回 治療		再 治療			計							
0～4 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29 歳	9	27.5	1	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-
30～39 歳	3	8.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2
40～49 歳	2	4.4	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1
50～59 歳	8	15.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	1
60～69 歳	9	21.6	2	1	-	-	-	1	-	1	2.4	7	-	4
70 歳以上	33	43.5	6	2	1	-	1	1	-	4	2.6	24	3	1
合計	64	18.6	10	3	1	-	1	2	-	7	0.9	50	4	9

（令和 6 年 12 月末現在）

(5) 結核登録除外状況（令和 6 年 1 月～令和 6 年 12 月末）

（単位：件）

区 分	死 亡		観察不要	転 出	転 症	計
	結 核	その他				
大津市	1	7	26	1	-	35

(6) 結核患者保健指導（令和 6 年 1 月～令和 6 年 12 月末）

新規登録患者に対しては、積極的疫学調査及び服薬支援等を目的に全数実施している。（LTBI 含む）

対象者（新規登録者） 35 人

実施方法及び件数 訪問 22 件、来所 12 件、電話 0 件、死亡後発生届 1 件

(7) DOTS（直接服薬確認療法）事業（令和 6 年度）

大津市結核患者療養支援事業実施要領を策定し、服薬継続のためのアセスメント票に基づき、訪問・電話等により継続的な服薬支援を実施している。（転出、死亡、LTBI 含む）

対象者 51 人

実施方法及び件数（延べ） 訪問 91 件、電話 217 件、来所 4 件、手紙 13 件、
メール 46 件、薬局DOTS 4 件

(8) 接触者健康診断（令和 6 年度）

結核患者の発生届を受理し、積極的疫学調査の結果、結核に感染していると疑われる者について感染症法第 17 条により、二次感染による患者の発生予防及び早期発見のため健康診断を実施している。

対象者数（実人数） 96 人

（延べ） 141 人、受診者総数 139 人、受診率 98.6%

区 分		保健所 実施分	医療機関 委託分	その他（職場検診等）
受診者数（延べ人数）		110	28	1
（※） 内 訳	胸部エックス線検査	12	15	1
	ツベルクリン反応検査	-	-	-
	IGRA 検査	103	27	-

単位：件

※検査項目の

重複実施あり

健診結果 異常なし 86 人、潜在性結核感染症 2 人、肺結核 1 人、経過観察 5 人 未受診 2 人

3 特定感染症

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び「特定感染症検査等事業実施要綱」に基づき、正しい知識の普及啓発を行うとともに、早期発見及びまん延防止のため、梅毒検査、H T L V-1 検査、H I V 抗原・抗体検査、肝炎ウイルス検査（B 型・C 型）を実施している。

（１）相談数

（単位：件）

区 分			来所（検査時も含む）	電話	合計
梅毒	男		204	8	212
	女		63	2	65
H I V	男		201	5	206
	女		61	1	62
	相談内容延件数		737	19	756
	相 談 内 容	症状について	156	3	159
		検査について	159	12	171
		感染経路	171	－	171
		予防方法	161	2	163
		患者発生状況	70	－	70
		その他	20	2	22
H B V	男		202	5	207
	女		62	1	63
H C V	男		201	3	204
	女		62	1	63
H T L V-1	男		22	－	22
	女		8	－	8

（２）特定感染症検査実施状況

検査日時

毎月第 2・4 水曜日 13:15～14:15 計 23 回

梅毒、H I V 抗原・抗体検査、B 型肝炎ウイルス検査、C 型肝炎ウイルス検査

毎月第 2・4 水曜日 14:00～14:30 計 23 回

HTLV-1 検査

検査受検者数

（単位：人）

区 分		19 歳以下	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50 歳以上	合計
梅毒	男	1	37	32	19	23	112
	女	1	13	9	4	6	33
H I V	男	1	35	32	19	26	113
	女	1	12	9	4	5	31
H B V	男	1	33	28	17	28	107
	女	－	11	9	4	6	30
H C V	男	1	33	28	17	25	104
	女	－	11	9	4	7	31
HTLV-1	男	－	－	1	－	1	2
	女	－	－	1	－	－	1

（３）H I V 普及啓発事業

H I V・エイズに関する正しい知識の普及を目的に市内の大学や関係機関との連携により啓発活動を行っている。

○H I V検査普及週間関連イベント（令和6年6月1日～6月7日）

学校（17 か所）、支所（36 か所）、商業施設（8 か所）、市内企業（10 か所）、関係機関（1 か所）でのポスター掲示

保健所、すこやか相談所でのポスター掲示及びのぼり設置

市内映画館及び市立図書館にてポスター掲示及び啓発資材（付箋）設置

○世界エイズデー関連イベント（令和6年11月25日～12月28日）

市内学校（17 か所）、病院（15 か所）、企業（10 か所）、商業施設（13 か所）及び大津市生涯学習センターにて、ポスター掲示

市内大学にてポスター掲示と啓発資材（付箋・使い捨てカイロ）配布

大津市立図書館にて啓発展示ブースの設置（ポスター掲示、啓発資材（付箋）設置）

保健所、すこやか相談所でのポスター掲示とのぼり設置

市内映画館や商業施設（4 か所）にてポスター掲示及び啓発資材（付箋）の設置

大津市ホームページでの啓発

（4）肝炎治療特別促進事業申請受付

滋賀県からの委託を受けて、肝炎治療特別促進事業（インターフェロン治療・インターフェロンフリー治療・核酸アナログ製剤治療に係る医療費を助成し、患者の治療へのアクセスを改善することにより、肝硬変・肝がんの予防を図ることを目的とする。）の申請受付を行っている。

申請受付状況

（単位：件）

種別・性別		年齢	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計
B型肝炎 インターフェロン治療	男		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計		-	-	-	-	-	-	-	-	-
C型肝炎 インターフェロン治療	男		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計		-	-	-	-	-	-	-	-	-
インターフェロン治療 計	男		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計		-	-	-	-	-	-	-	-	-
インターフェロンフリー治療	男		-	-	1	-	-	4	3	-	8
	女		-	1	1	1	-	2	-	2	7
	計		-	1	2	1	-	6	3	2	15
核酸アナログ製剤治療	男		-	1	2	15	40	31	35	9	133
	女		-	-	1	6	20	17	23	6	73
	計		-	1	3	21	60	48	58	15	206
合計	男		-	1	3	15	40	35	38	9	141
	女		-	1	2	7	20	19	23	8	80
	計		-	2	5	22	60	54	61	17	221

(5) 肝炎重症化予防推進事業申請受付

滋賀県からの委託を受けて、ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業に係る初回精密検査及び定期精密検査の費用助成の申請受付を行っている。また、申請者には平成 29 年度から定期検査の受診状況や体調等を確認するフォローアップを実施している。

申請受付状況

(単位：件)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
初回精密検査	1	1	5	1	－
定期検査	18	19	4	12	10

(6) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

滋賀県からの委託を受けて、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業（B 型・C 型肝炎ウイルスに起因する肝がん又は重度肝硬変により、指定医療機関に通院若しくは入院している患者のうち、世帯の所得基準を満たし、一定の期間に、一定の医療費が現出している者に、医療費助成等を行い、治療研究を図ることを目的とする。）の申請受付を行っている。

申請受付状況

(単位：件)

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
申請数	－	4	11	18

(7) 風しん抗体価検査

先天性風しん症候群の予防のため、予防接種が必要である風しん感受性者を効率的に抽出し予防接種の勧奨を行うことを目的に、平成 26 年度から無料で実施している。

風しん抗体検査実施状況（令和 6 年度）

(単位：人)

	19 歳以下	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	合計
男	－	53	115	17	1	3	189
女	－	103	157	9	6	4	279
合計	－	156	272	26	7	7	468

(8) 追加的風しん対策事業（抗体検査）

令和元年度から、風しんの予防接種機会を与えられなかった昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日までに生まれた男性を対象に抗体検査を実施するため、令和元年度は昭和 47 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの人に、令和 2 年度は昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 47 年 4 月 1 日生まれの人に抗体検査のクーポン券を送付した。令和 3 年度は、既にクーポン券を送付した者のうち抗体検査未受検の者に再度クーポン券を送付した。令和 3 年度をもって事業終了予定であったが、令和 4 年度から 3 年間実施期間が延長となったため、令和 4 年度以降も毎年度抗体検査未受検の者にクーポン券を送付し、令和 7 年 3 月 31 日をもって事業を終了した。

抗体検査実施状況

(単位：人)

年度	対象者	受検者数
令和 3	30,380	4,223
令和 4	26,584	901
令和 5	25,722	801
令和 6	24,987	1,267

4 予防接種

疾病の予防に有効であることが確認されているワクチンを接種することで、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的として、予防接種法第5条に基づき各種予防接種を実施している。

平成25年度からヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防ワクチンが、平成26年10月から水痘、高齢者肺炎球菌が、平成28年10月からB型肝炎が、令和2年10月からロタウイルス感染症が、令和6年4月から五種混合が、同年10月から高齢者新型コロナウイルス感染症が定期予防接種に追加された。

(1) 定期接種予防接種者数

① ポリオ (単位：件)

年度	I 期初回			I 期追加
	1 回目	2 回目	3 回目	
令和5	-	-	-	-
令和6	-	-	-	-

② 四種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ） (単位：件)

年度	I 期初回			I 期追加
	1 回目	2 回目	3 回目	
令和5	2,551	2,523	2,527	2,409
令和6	38	278	515	2,456

③ 三種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風） (単位：件)

年度	I 期初回			I 期追加
	1 回目	2 回目	3 回目	
令和5	1	1	-	1
令和6	-	-	1	-

※四種混合ワクチンへの切り替えに伴い、平成26年12月三種混合ワクチンの製造が中止されたが、平成30年1月に製造が再開された。

④ BCG (単位：件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
令和5	2,355	2,310	98.1
令和6	2,248	2,264	100.7

⑤ 日本脳炎 (単位：件)

年度	I 期初回（初回接種）		I 期（追加接種）	II 期（追加接種）
	1 回目	2 回目		
令和5	2,518	2,460	2,827	3,509
令和6	2,534	2,538	2,517	3,195

※1. 平成17年5月30日から平成22年3月末まで、接種勧奨を差し控えた。

※2. 平成22年度から、3歳児の接種勧奨を再開。

※3. 平成23年5月20日から、平成7年6月1日から平成19年4月1日までに生まれた者が特例対象者に位置づけられた。

※4. 平成25年度から、平成7年4月2日から平成7年5月31日までに生まれた者も特例対象者に追加された。

⑥ 二種混合（ジフテリア・破傷風） (単位：件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
令和5	3,228	2,809	87.0
令和6	3,193	2,861	89.6

⑦ 麻しん・風しん

(単位：件・%)

年度	第 1 期			第 2 期				
	対象者	接種者		接種率	対象者	接種者		接種率
令和 5	2, 480	麻風混合	2, 361	95. 2	2, 923	麻風混合	2, 760	94. 4
		麻しん	1			麻しん	-	
		風しん	-			風しん	-	
令和 6	2, 470	麻風混合	2, 333	94. 5	2, 937	麻風混合	2, 739	93. 3
		麻しん	-			麻しん	-	
		風しん	-			風しん	-	

⑧ 水痘

(単位：件)

年度	1回目	2回目
令和5	2,379	2,302
令和6	2,352	2,260

⑨ ヒブ

(単位：件)

年度	初回接種者			I期追加
	1回目	2回目	3回目	
令和5	2,339	2,325	2,288	2,346
令和6	30	269	503	2,024

⑩ 小児用肺炎球菌

(単位：件)

年度	初回接種者			I期追加
	1回目	2回目	3回目	
令和5	2,339	2,324	2,288	2,351
令和6	2,144	2,198	2,248	2,361

⑪ HPV（ヒトパピローマウイルス感染症）

(単位：件)

年度	接種者		
	1回目	2回目	3回目
令和5	2,396	1,780	1,464
令和6	4,768	4,181	3,196

※平成25年6月から接種勧奨を差し控えた。

※令和3年11月から接種勧奨を再開した。

※令和4年4月からキャッチアップ接種を開始した。

※令和5年4月から9価ワクチンの定期接種を開始した。

⑫ B型肝炎

(単位：件・%)

年度	対象者	接種者			接種率		
		1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
令和5	2,355	2,337	2,321	2,345	99.2	98.6	99.6
令和6	2,248	2,141	2,197	2,210	95.2	97.7	98.3

※平成28年10月から定期接種化された。

⑬ ロタウイルス感染症

(単位：件)

年度	対象者	ワクチン	接種者		
			1回目	2回目	3回目
令和5	2,355	1価	1,161	1,129	
		5価	1,148	1,158	1,130
令和5	2,248	1価	1,090	1,132	
		5価	1,018	1,032	1,053

※令和2年10月から定期接種化された。

※ワクチンが2種類（1価・5価）あり、1価は2回接種、5価は3回接種。

⑭ 五種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ・ヒブ）（単位：件）

年度	Ⅰ期初回			Ⅰ期追加
	1回目	2回目	3回目	
令和6	2,116	1,934	1,752	203

※令和6年4月から定期接種化された。

⑮ 高齢者インフルエンザ（単位：件・％）

年度	対象者	接種者	接種率
令和5	95,055	52,714	55.5
令和6	95,775	48,986	51.1

⑯ 高齢者肺炎球菌（単位：件・％）

年度	対象者	接種者	接種率
令和5	11,655	3,583	30.7
令和6	4,050	777	19.2

※平成26年10月から定期接種化された。令和5年度までは、経過措置として、各年度内に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる者を対象として実施した。

⑰ 高齢者新型コロナウイルス感染症（単位：件・％）

年度	対象者	接種者	接種率
令和6	95,775	18,009	18.8

※令和6年10月から定期接種化された。

（接種率の記載について）

※ポリオ、三種混合：五種混合へ移行しているため、記載していない。

※四種混合、日本脳炎、水痘、HPV、五種混合：接種回数が複数回であり、接種時期が複数年度に渡ることから、当該年度における接種対象者の抽出が困難であり、記載していない。

※ヒブ、小児用肺炎球菌：接種開始時期によって接種回数が異なるため、記載していない。

※ロタ：接種するワクチンによって接種回数が異なるため、記載していない。

（2）風しん任意予防接種費用助成

平成25年から、全国的に風しんが流行したため、先天性風しん症候群の予防を目的として、風しん抗体価が低い妊娠希望の女性等に費用助成を実施している。

助成件数（単位：件）

年度	助成件数
令和5	252
令和6	220

（3）追加的風しん対策事業（第5期の定期接種）

令和元年度から実施してきた追加的風しん対策事業（抗体検査）の検査結果にて、十分な量の抗体があることが判明した者を除いて、風しんの第5期の定期接種を行った。令和7年3月31日をもって事業終了予定であったが、麻しん・風しんワクチンの偏在等が生じたことを理由に接種ができなかったと認める者を対象に、令和9年3月31日まで経過措置として定期接種を実施する。

予防接種実施状況（単位：人）

年度	対象者	接種者
令和3	1,022	834
令和4	207	176
令和5	185	162
令和6	304	263

(4) ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン任意接種費用助成

令和4年10月1日から積極的な接種勧奨の差控えにより接種の機会を逃した者で、定期接種の年齢を過ぎて、HPVワクチンの任意接種を自費で受けた方に接種費用の助成を行い、令和7年3月31日をもって事業を終了した。

助成件数 (単位: 人)

年度	助成件数
令和5	33
令和6	16

(5) 造血幹細胞移植後のワクチン再接種費用助成

令和4年度から造血幹細胞移植（骨髄移植、末梢血幹細胞移植又は臍帯血移植）前に接種した定期予防接種の再接種費用の助成を行っている。

助成件数 (単位: 人)

年度	助成件数
令和5	4
令和6	4

5 特定医療費（指定難病）

当該事業は、滋賀県が主体として実施する特定医療費（指定難病）支給認定事業であり、これに係る受給者証の申請受付事務を県からの委託により本市が実施している。

平成 27 年 1 月に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、従来の特定疾患の多くが当該事業に移行されたところである。令和 4 年度から、更新申請受付事務は滋賀県が行っている。

（１）特定医療費（特定疾患含む）医療受給者証申請受付数

（単位：件）

新規申請数	更新申請数
594	令和 4 年度から更新受付事務は滋賀県

（２）特定医療費（指定難病）医療受給者証交付件数（令和 7 年 3 月 31 日現在）

（単位：件）

番号	病 名	交付者数
1	球脊髄性筋萎縮症	8
2	筋萎縮性側索硬化症	33
3	脊髄性筋萎縮症	4
4	原発性側索硬化症	2
5	進行性核上性麻痺	44
6	パーキンソン病	526
7	大脳皮質基底核変性症	19
8	ハンチントン病	4
9	神経有棘赤血球症	－
10	シャルコー・マリー・トゥース病	6
11	重症筋無力症	93
12	先天性筋無力症候群	－
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	69
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	20
15	封入体筋炎	4
16	クロウ・深瀬症候群	1
17	多系統萎縮症	35
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	64
19	ライソゾーム病	2
20	副腎白質ジストロフィー	－
21	ミトコンドリア病	4
22	もやもや病	49
23	プリオン病	1
24	亜急性硬化性全脳炎	－
25	進行性多巣性白質脳症	1
26	HTLV-1 関連脊髄症	1
27	特発性基底核石灰化症	－
28	全身性アミロイドーシス	29
29	ウルリッヒ病	－
30	遠位型ミオパチー	1
31	ベスレムミオパチー	－
32	自己食食空胞性ミオパチー	－

（単位：件）

番号	病 名	交付者数
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	－
34	神経線維腫症	8
35	天疱瘡	7
36	表皮水疱症	－
37	膿疱性乾癬（汎発型）	9
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1
39	中毒性表皮壊死症	－
40	高安動脈炎	8
41	巨細胞性動脈炎	21
42	結節性多発動脈炎	6
43	顕微鏡的多発血管炎	31
44	多発血管炎性肉芽腫症	6
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	33
46	悪性関節リウマチ	16
47	バージャー病	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	4
49	全身性エリテマトーデス	172
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	75
51	全身性強皮症	44
52	混合性結合組織病	20
53	シェーグレン症候群	43
54	成人発症スチル病	16
55	再発性多発軟骨炎	5
56	ベーチェット病	36
57	特発性拡張型心筋症	65
58	肥大型心筋症	9
59	拘束型心筋症	－
60	再生不良性貧血	26
61	自己免疫性溶血性貧血	4
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	6
63	特発性血小板減少性紫斑病	65
64	血栓性血小板減少性紫斑病	1

(単位：件)

番号	病 名	交付者数
65	原発性免疫不全症候群	7
66	IgA 腎症	70
67	多発性嚢胞腎	68
68	黄色靱帯骨化症	15
69	後縦靱帯骨化症	75
70	広範脊柱管狭窄症	22
71	特発性大腿骨頭壊死症	70
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	20
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	2
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	5
75	クッシング病	3
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	-
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	15
78	下垂体前葉機能低下症	62
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	3
80	甲状腺ホルモン不応症	1
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
82	先天性副腎低形成症	-
83	アジソン病	-
84	サルコイドーシス	39
85	特発性間質性肺炎	50
86	肺動脈性肺高血圧症	21
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	-
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	13
89	リンパ脈管筋腫症	2
90	網膜色素変性症	44
91	バッド・キアリ症候群	3
92	特発性門脈圧亢進症	-
93	原発性胆汁性胆管炎	43
94	原発性硬化性胆管炎	2
95	自己免疫性肝炎	23
96	クローン病	139
97	潰瘍性大腸炎	503
98	好酸球性消化管疾患	6
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	-
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	-
101	腸管神経節細胞僅少症	-
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	-
103	CFC 症候群	-
104	コステロ症候群	-
105	チャージ症候群	-
106	クリオピリン関連周期熱症候群	1

(単位：件)

番号	病 名	交付者数
107	若年性特発性関節炎	2
108	TNF 受容体関連周期性症候群	-
109	非典型溶血性尿毒症症候群	-
110	ブラウ症候群	-
111	先天性ミオパチー	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	-
113	筋ジストロフィー	15
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	-
115	遺伝性周期性四肢麻痺	2
116	アトピー性脊髄炎	1
117	脊髄空洞症	2
118	脊髄髄膜瘤	1
119	アイザックス症候群	-
120	遺伝性ジストニア	-
121	脳内鉄沈着神経変性症	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	-
123	HTRA1 関連脳小血管病	-
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	-
126	ペリー病	-
127	前頭側頭葉変性症	5
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	1
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	-
130	先天性無痛無汗症	-
131	アレキサンダー病	-
132	先天性核上性球麻痺	-
133	メビウス症候群	-
134	中隔視神経形成異常症／ドモルシア症候群	-
135	アイカルディ症候群	-
136	片側巨脳症	-
137	限局性皮質異形成	-
138	神経細胞移動異常症	-
139	先天性大脳白質形成不全症	2
140	ドラベ症候群	-
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	-
142	ミオクロニー欠伸てんかん	-
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	-
144	レノックス・ガストー症候群	1
145	ウェスト症候群	-
146	大田原症候群	1
147	早期ミオクロニー脳症	-
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	-

(単位：件)

番号	病 名	交付者数
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	-
150	環状 20 番染色体症候群	-
151	ラスムッセン脳炎	-
152	P C D H19 関連症候群	-
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	-
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	-
155	ランドウ・クレフナー症候群	-
156	レット症候群	-
157	スタージ・ウェーバー症候群	-
158	結節性硬化症	6
159	色素性乾皮症	-
160	先天性魚鱗癬	1
161	家族性良性慢性天疱瘡	1
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	26
163	特発性後天性全身性無汗症	2
164	眼皮膚白皮症	-
165	肥厚性皮膚骨膜症	1
166	弾性線維性仮性黄色腫	-
167	マルファン症候群/ロイス・ディーツ症候群	3
168	エーラス・ダンロス症候群	-
169	メンケス病	-
170	オクシピタル・ホーン症候群	-
171	ウィルソン病	4
172	低ホスファターゼ症	-
173	VATER 症候群	-
174	那須・ハコラ病	-
175	ウィーバー症候群	-
176	コフィン・ローリー症候群	-
177	ジュベール症候群関連疾患	-
178	モワット・ウィルソン症候群	-
179	ウィリアムズ症候群	-
180	A T R-X 症候群	-
181	クルーゾン症候群	-
182	アペール症候群	-
183	ファイファー症候群	-
184	アントレー・ビクスラー症候群	-
185	コフィン・シリス症候群	-
186	ロスムンド・トムソン症候群	-
187	歌舞伎症候群	-
188	多脾症候群	1
189	無脾症候群	-
190	鰓耳腎症候群	-

(単位：件)

番号	病 名	交付者数
191	ウェルナー症候群	-
192	コケイン症候群	-
193	ブラダー・ウィリ症候群	-
194	ソトス症候群	-
195	ヌーナン症候群	-
196	ヤング・シンプソン症候群	-
197	1 p36 欠失症候群	-
198	4 p 欠失症候群	-
199	5 p 欠失症候群	-
200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	-
201	アンジェルマン症候群	-
202	スミス・マギニス症候群	-
203	22q11.2 欠失症候群	1
204	エマヌエル症候群	-
205	脆弱 X 症候群関連疾患	-
206	脆弱 X 症候群	-
207	総動脈幹遺残症	-
208	修正大血管転位症	2
209	完全大血管転位症	1
210	単心室症	-
211	左心低形成症候群	-
212	三尖弁閉鎖症	1
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	-
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	-
215	ファロー四徴症	2
216	両大血管右室起始症	-
217	エプスタイン病	-
218	アルポート症候群	2
219	ギャロウェイ・モワト症候群	-
220	急速進行性糸球体腎炎	8
221	抗糸球体基底膜腎炎	1
222	一次性ネフローゼ症候群	44
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2
224	紫斑病性腎炎	1
225	先天性腎性尿崩症	-
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	4
227	オスラー病	2
228	閉塞性細気管支炎	1
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	-
230	肺胞低換気症候群	-
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	-
232	カーニー複合	-

(単位：件)

番号	病 名	交付者数
233	ウォルフラム症候群	-
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	-
235	副甲状腺機能低下症	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	-
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	-
238	ビタミンD抵抗性くる病／骨軟化症	4
239	ビタミンD依存性くる病／骨軟化症	-
240	フェニルケトン尿症	-
241	高チロシン血症 1 型	-
242	高チロシン血症 2 型	-
243	高チロシン血症 3 型	-
244	メーブルシロップ尿症	-
245	プロピオン酸血症	-
246	メチルマロン酸血症	-
247	イソ吉草酸血症	-
248	グルコーストランスポーター1 欠損症	1
249	グルタル酸血症 1 型	-
250	グルタル酸血症 2 型	-
251	尿素サイクル異常症	1
252	リジン尿性蛋白不耐症	-
253	先天性葉酸吸収不全	-
254	ボルフィリン症	-
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	-
256	筋型糖原病	-
257	肝型糖原病	1
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	-
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	-
260	シトステロール血症	-
261	タンジール病	-
262	原発性高カイロミクロン血症	-
263	脳腱黄色腫症	-
264	無βリポタンパク血症	-
265	脂肪萎縮症	-
266	家族性地中海熱	3
267	高IgD症候群	-
268	中條・西村症候群	-
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	-
270	慢性再発性多発性骨髄炎	1
271	強直性脊椎炎	10
272	進行性骨化性線維異形成症	-

(単位：件)

番号	病 名	交付者数
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	-
274	骨形成不全症	-
275	タナトフォリック骨異形成症	-
276	軟骨無形成症	1
277	リンパ管腫症／ゴーハム病	-
278	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	-
279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	-
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	-
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
282	先天性赤血球形成異常性貧血	-
283	後天性赤芽球癆	2
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	-
285	ファンconi貧血	-
286	遺伝性鉄芽球性貧血	-
287	エプスタイン症候群	-
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	-
289	クロンカイト・カナダ症候群	-
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
291	ヒルシュスブルング病（全結腸型又は小腸型）	-
292	総排泄腔外反症	-
293	総排泄腔遺残	-
294	先天性横隔膜ヘルニア	-
295	乳幼児肝巨大血管腫	-
296	胆道閉鎖症	1
297	アラジール症候群	-
298	遺伝性膵炎	-
299	嚢胞性線維症	-
300	I g G 4 関連疾患	17
301	黄斑ジストロフィー	-
302	レーベル遺伝性視神経症	-
303	アッシャー症候群	-
304	若年発症型両側性感音難聴	-
305	遅発性内リンパ水腫	1
306	好酸球性副鼻腔炎	197
307	カナパン病	-
308	進行性白質脳症	-
309	進行性ミオクロノスズてんかん	-
310	先天異常症候群	-
311	先天性三尖弁狭窄症	-
312	先天性僧帽弁狭窄症	-

(単位：件)

番号	病 名	交付者数
313	先天性肺静脈狭窄症	-
314	左肺動脈右肺動脈起始症	-
315	ネイルパテラ症候群（爪膝骨症候群）／LMX1B 関連腎症	-
316	カルニチン回路異常症	-
317	三頭酵素欠損症	-
318	シトリン欠乏症	-
319	セピアプリテン還元酵素（SR）欠損症	-
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	-
321	非ケトーシス型高グリシン血症	-
322	β -ケトチオラーゼ欠損症	-
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	-
324	メチルグルタコン酸尿症	-
325	遺伝性自己炎症疾患	-
326	大理石骨病	-
327	特発性血栓症（遺伝性素因によるものに限る。）	2

(単位：件)

番号	病 名	交付者数
328	前眼部形成異常	-
329	無虹彩症	1
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	-
331	特発性多中心性キャスルマン病	7
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	-
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	-
334	脳クレアチン欠乏症候群	-
335	ネフロン癆	-
336	家族性低 β リポタンパク血症1（ホモ接合体）	-
337	ホモシスチン尿症	-
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	1
339	MECP2 重複症候群	-
340	線毛機能不全症候群（カルタゲナー症候群を含む。）	-
341	TRPV4 異常症	-
合 計		3,495

(3) 特定疾患医療受給者証交付件数（令和7年3月31日現在）

(単位：件)

番号	病 名	交付者数
5	スモン	2
18	難治性肝炎のうち劇症肝炎	-
32	重症急性膵炎	-
54	重症多形滲出性紅斑	-
合 計		2

6 難病支援

難病支援対策推進事業

国の難病特別対策推進事業実施要綱に基づき、難病患者等に対し、総合的な相談・支援や在宅療養上の必要な支援を行うことにより安定した療養生活の確保と難病患者及びその家族の生活の質（ＱＯＬ）の向上に資することを目的として実施している。

（１）特定医療費（指定難病）申請時面接相談

（単位：件）

新規申請数	新規申請時面接相談	更新申請数	更新申請時面接相談
594	1	2,991	2

（２）難病患者訪問指導及び面接相談

（単位：件）

	訪問指導		面接相談	
	実人数（人）	延べ件数（件）	実人数（人）	延べ件数（件）
筋萎縮性側索硬化症	4	13	3	4
その他の難病	23	38	3	3
計	27	51	6	7

（３）医療講演会及び相談会

① 医療講演会（草津保健所と合同開催）

開催日・場所	大津管内参加人員	内 容
令和6年11月1日 大津市平野 コミュニティセンター	患者4人 従事者2人 計6人	講演：パーキンソン病の理解と日常生活の注意点 講師：神戸市立医療センター中央市民病院 膠原病・リウマチ内科部長 大村 浩一郎 医師

② パーキンソン病医療講演会・従事者研修会

開催日・場所	参加人員	内 容
令和6年10月10日 明日都浜大津4階 ふれあいプラザ ホール	当事者 18人 家族 8人 その他 1人 従事者 22人 計 49人	講演：パーキンソン病の病気の理解と日常生活 講師：滋賀医科大学内科学講座 脳神経内科 小橋 修平 医師

（４）難病従事者研修会

① 難病在宅支援従事者研修会

開催日・場所	参加人員	内 容
令和7年1月21日 大津市保健所1階 大会議室	介護支援専門員 24人 看護師 2人 保健師 3人 介護士 2人 社会福祉士 1人 計 32人	講演：初めての難病支援 ～進行性の神経難病患者への在宅支援～ 講師：大津市訪問看護ステーション連絡協議会会長 橋口 倫宏 氏

② 難病患者災害対策従事者研修会

開催日・場所	参加人員	内 容
令和 6 年 11 月 26 日 大津市保健所 1 階 大会議室	介護支援専門員 25 人 医師 2 人 看護師 3 人 保健師 1 人 訪問介護員・相談支援専門員 5 人 その他（行政職員・地域役員等）5 人 難病対策災害支援部会 10 人 計 51 人	講演：災害時における滋賀県の取組について 講師：滋賀県健康医療福祉部 健康危機管理課 宮元 優太 氏

（５）ケース検討会

筋萎縮性側索硬化症等の神経難病を中心に、他機関で支援を必要とするケースに対して、地域の支援者と共に個々の患者の実情に応じた支援方法について検討した。年 11 回実施（ALS 5 回、その他難病 6 回）実 9 人（ALS 4 人、その他難病 5 人）

（６）ケアマネジメント・アドバイザー事業

関係スタッフだけでは解決困難なケースの処遇等を助言者と共に検討する場を設け、より適切で円滑な療養支援を図ると共に患者・家族のＱＯＬの向上を図るために難病患者におけるケアマネジメント・アドバイザー事業を開催している。

実施日：令和 7 年 3 月 12 日

アドバイザー：理学療法士

（７）在宅療養支援体制の整備に関する事業

難病対策地域協議会

開催日・場所	出席者	内 容
【災害支援部会】 令和 6 年 11 月 26 日 大津市保健所 1 階 大会議室	医療福祉関係機関 （委員 11 人参加）	・主治医連携を含めた個別避難計画作成について ・福祉避難所の整備の充足について ・個別避難計画作成を断るケアマネの理由について ・小児慢性特定疾患患者で地域との連携で成し遂げた災害対策について
【難病対策地域協議会】 令和 7 年 2 月 6 日 ふれあいプラザ 5 階 大会議室	重症難病医療拠点・協力病院等関係機関 （委員 26 人参加）	・指定難病の申請状況について ・難病患者地域支援事業について ・難病患者の相談・療養状況について ・難病患者の災害対策について ・難病対策についての意見交換

（８）各種関係団体への支援

① 全国パーキンソン病友の会滋賀県支部活動支援

パーキンソン病医療講演会の後に、友の会により交流会が開催された。

② ケアクラフト 002（自助具工房）活動支援

パーキンソン病医療講演会の場で、自助具の展示や紹介の機会を設けた。保健所内では継続して展示場所を提供している。

7 精神保健

精神保健福祉対策

地域における精神保健福祉活動を行う機関として、精神保健に課題を抱える人の精神的健康の保持増進、社会参画および社会復帰を支援するため、保健師、専門医、看護師、精神保健福祉士および心理職による相談・訪問指導、関係機関との定例事例検討会の開催、家族交流会の実施等の事業を行っている。

(1) 精神保健福祉相談、訪問等

精神疾患や精神障害等を持つ人およびその家族を対象に、当事者および家族等の不安を緩和し、QOLの向上を図ることを目的として、専門医や保健師による相談・訪問を実施している。

(単位：件)

区分	新規者（面談、訪問指導）の受付経路内訳			
	関係各課	医療機関	その他	新規合計
男	10	11	28	49
女	7	14	27	48
計	17	25	55	97

区分	面 談											
	実人員	延 人 員										
		高齢者	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康	一般	その他	計
男	202	3	-	5	6	3	-	27	74	155	99	372
女	184	4	-	10	3	-	-	32	49	166	131	395
計	386	7	-	15	9	3	-	59	123	321	230	767

区分	訪 問 指 導												電話相談 (含メール) 延人員
	実人員	延 人 員											
		高齢者	社会 復帰	アルコ ール	薬物	ギャン ブル	ゲーム	思春 期	心の 健康	一般	その他	計	
男	138	2	-	6	-	-	-	13	27	136	69	253	
女	120	5	-	4	-	-	-	11	43	124	102	289	
計	258	7	-	10	-	-	-	24	70	260	171	542	6, 903

① 一般精神保健福祉相談（医師によるもので、高齢者を含む）

実施状況 16回 17件

A. 本人の年齢別、相談者の内訳（重複あり）

(単位：人)

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	不詳	合計
本人	-	1	-	-	2	-	-	3
家族	-	4	3	2	5	7	-	21
保健師、福祉	-	1	-	1	2	4	-	8
その他	-	1	-	-	2	3	-	6
合計	-	7	3	3	11	14	-	38

B. 相談者別、本人の受療状況

(単位：人)

区分	未受診	受療中	治療中断	合計
本人	2	-	1	3
家族	9	-	3	12
保健師、福祉	-	1	1	2
その他	-	-	-	-
合計	11	1	5	17

C. 本人の年齢別、診断名の内訳（重複あり）

（単位：人）

区分	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳～	不詳	合計
統合失調症	-	-	-	-	1	2	-	3
神経症	-	1	1	-	-	-	-	2
アルコール依存症疑	-	-	-	-	-	-	-	-
高齢者精神病	-	-	-	-	-	-	-	-
パーソナリティ障害	-	-	-	-	-	-	-	-
妄想性障害	-	-	-	-	-	1	-	1
気分障害	-	-	-	-	-	1	-	1
心因反応	-	-	1	-	1	-	-	2
非定型精神病	-	-	-	-	-	-	-	-
認知症	-	-	-	-	-	2	-	2
発達障害	-	-	-	1	1	-	-	2
その他	-	2	1	-	2	-	-	5
合計	-	3	3	1	5	6	-	18

D. 相談医の指示の内訳（重複あり）

項目	件数
要医療、受診指導	11
主治医に相談	-
対応指導	5
その他	2
合計	18

② 思春期精神保健福祉相談（医師によるもの）

実施状況 11 回 16 件

A. 本人の年齢別、相談者の内訳（重複あり）

（単位：人）

区分	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40 歳～	計
本人	1	-	2	2	5
家族	3	1	4	6	14
保健師、福祉	1	-	-	-	1
その他	1	-	1	-	2
計	6	1	7	8	22

B. 相談者別、本人の受療状況

（単位：人）

区分	未受診	治療中	治療中断	合計
本人	5	-	-	5
家族	10	1	-	11
保健師、福祉	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
計	15	1	-	16

C. 相談内容の内訳

項目	件数
ひきこもり	10
未就労	-
不登校・進路	-
暴力	-
強迫症状	1
パニック	-
その他	5
計	16

D. 相談医の指示の内容（重複あり）

項目	件数
要医療、受診指導	8
主治医に相談	-
対応指導	7
その他	1
合計	16

Ｅ．本人の年齢別、診断名の内訳(重複あり)

(単位：人)

年齢	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40 歳～	計
統合失調症疑	－	－	1	－	1
社会的ひきこもり	－	－	－	－	－
広汎性発達障害疑	2	1	4	2	9
強迫性障害	1	－	－	－	1
摂食障害	－	－	－	－	－
うつ状態	－	－	1	2	3
パーソナリティ障害	－	－	－	－	－
その他	1	－	2	4	7
計	4	1	8	8	21

③ ひきこもり心理相談

ひきこもりがちになっている状態で悩んでいる方及びその家族で、保健所の思春期精神保健福祉相談を担当した医師が、継続的な心理ケアが望ましいと判断した方に対して、月 1～2 回、定例で臨床心理士による面接を実施している。

実施状況 18 回 延べ 46 件 実人数 9 人

④ 精神保健福祉に関する早期介入・支援事業（令和 4 年度から実施）

目 的 医療機関や各種相談機関から相談があった未受診、医療中断等の精神障害を抱える者や精神障害の疑いのある方に、支援チームが介入し集中的に関わることで、適切な医療やサービスにつなぎ、地域の一員として安心して暮らせるようにする。

実施状況 事務局会議 12 回（うち 5 回は県精神保健福祉センター技術協力）
 運営会議 2 回（関係機関が参加）
 訪問支援 支援対象者数：20 人
 支援回数：1,530 回 ※必要時、精神保健福祉相談医師と同行訪問
 （面接：45、訪問：281、同行：5、電話相談：347、手紙・メール：61、関係機関連絡：748、ケース会議：43）

⑤ 定例ケース検討会開催状況

目 的 精神保健に課題を抱える方への個別支援を行うに際して、処遇困難ケースや多問題を抱えるケースの支援方針や方向性を検討する機会とする。

開催状況 5 回

助言者 精神保健福祉センター 地区担当医 精神保健福祉士 臨床心理士 保健師

(単位：件)

開催回数		5
検討延べ件数		6
相談 経 路	保健予防課の保健師	1
	保健総務課・すこやか相談所の保健師	1
	長寿政策課・あんしん長寿相談所のスタッフ	2
	児童相談所・こども・子育て安心課の相談員	－
	障害者相談支援事業所の相談員	－
	障害福祉課	－
	生活福祉課	2
	病院スタッフ	－
	居宅介護支援専門員	－
	権利擁護サポートセンター	－
	大津市社会福祉協議会	－
	その他	－
	一般	3
事例 の 対 象	アルコール	1
	思春期	－
	薬物依存	－
	発達障害	1
	パーソナリティ障害	－
	その他	1

⑥ こころのサポーター養成講座

目 的	心のサポーターとは、メンタルヘルスや精神疾患への正しい知識と理解を持ち、地域や職域でメンタルヘルスの問題を抱える人や家族等に対して傾聴を中心とした支援をできる人のことである。身近な人のこころの不調のサインに気づき、こころの応急手当ができる人を増やすことを目的として本講座を開催した。
日 時	令和6年11月15日（金）14：00～16：00
場 所	大津市平野コミュニティセンター
内 容	講義（心の病気について、心をサポートする方法、ストレス対処法）、グループワーク
講 師	杉山 悠 看護師
参加者数	29人

⑦ その他講座

テ ー マ	「こころの健康づくり（メンタルヘルス）」
日 時	令和6年10月22日 対象：就労移行支援事業所利用者 参加者数：9人
テ ー マ	「ストレスへの対処法～コーピングとモニタリング～」
日 時	令和6年7月22日 対象：小松小学校教員 参加者数：11人
日 時	令和6年10月23日 対象：瀬田北小学校教員 参加者数：29人
テ ー マ	「生きづらさを抱える人との関わりについて」
日 時	令和6年12月5日 対象：清陵高等学校教員 参加者数：14人

（3）家族教室、家族交流会事業（平成28年度から家族教室・家族交流会を合同で実施）

① 家族教室・家族交流会

目 的	・ 病気に対する正しい知識を習得し、家族への接し方や関わり方を学ぶことで患者に適切に対応できることや家族自身の精神的な安定を図る。 ・ 精神障害者を抱える患者の家族間で相互交流を深め家族の孤立を防ぐ。
対 象	・ 大津市保健所の統合失調症を対象とした精神保健家族教室・交流会に参加経験のある家族 ・ 患者の主治医が参加することが適当であると判断した精神障害者の家族 (78 家族)

区 分	日 時	参加者数	内 容	スタッフ
第1回	令和6年10月17日 14：00～16：15	17人 (15 家族)	講話：「統合失調症ってどんな病気？」 講師：なかじまクリニック 大門 一司医師 家族交流会・意見交換	保健予防課
第2回	令和6年12月9日 14：00～16：15	13人 (11 家族)	講話：「訪問看護のことを知ろう」 講師：滋賀県立精神医療センター 徳田 英司氏 家族交流会・意見交換（8人・7 家族）	保健予防課
第3回	令和7年2月7日 14：00～16：00	14人 (11 家族)	講話：「体験談を聞こう」 講師：ピアサポートセンター堺 北村 和孝氏・吉岡 美都代氏 家族交流会・意見交換（11人・7 家族）	保健予防課 オアシスの郷

② ひきこもり家族交流会

目 的	ひきこもりケースの家族を対象に学習会及び家族交流を通じて、家族がひきこもりの状態を理解し、日ごろの対応を見直せる機会とする。 また、社会資源などの情報を得て対応能力の向上を図る。
対 象	大津市に在住する概ね高校生以上のひきこもりの状態で悩んでいる方の家族。 (54 家族)

区 分	日 時	参加者数	内 容	スタッフ
第 1 回	令和 6 年 9 月 3 日 14 : 00 ~ 16 : 00	8 人 (8 家族)	講話 : 「家族も元気に過ごせるように～SST の取り組みから～」 講師 : NPO 法人 サタデーピア 上ノ山 真佐子氏 家族交流・意見交換	保健 予防課
第 2 回	令和 6 年 12 月 20 日 14 : 00 ~ 16 : 00	8 人 (8 家族)	講話 : 「ひきこもる若者との付き合い方～一緒に考えてみませんか～」 講師 : 大津市教育支援センター 末代 咲恵氏 家族交流・意見交換	保健 予防課
第 3 回	令和 7 年 1 月 21 日 10 : 00 ~ 12 : 00	12 人 (11 家族)	講話 : 「ひきこもりの理解と家族の関わり方」(サテライト会場) 講師 : 仏教大学 保健医療技術学部 教授 漆葉 成彦医師 家族交流・意見交換	保健 予防課

(4) 従事者研修会

精神保健従事者研修会

日 時	令和 6 年 10 月 24 日 (木) 14 : 00 ~ 16 : 00
場 所	ふれあいプラザ 4 階 ホール
講 演	「精神疾患を持つ当事者と家族の経験から、地域で孤立しない支援を考える ～メンタルヘルスに不調のある方と家族のまるごと支援～」
講 師	大阪大学高等共創研究院・大学院医学系研究科保健学専攻兼任 蔭山正子氏
参 加 者	40 人

(5) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく申請、通報、鑑定状況

本法に基づく警察機関等からの通報等においては、精神障害者又はその疑いがある者について、ただちに入院をさせなければ精神的障害のために自身を傷つけ、又は他人を害するおそれがある場合、その者に指定医の診察を受けさせなければならないことから、当該通報等があった場合、本市は滋賀県への経由事務を行っている。

① 申請・通知状況

(単位 : 件)

区分		大津市	市外	計
性別	男	62	-	62
	女	31	-	31
	計	93	-	93
申請・通報状況	家族	-	-	-
	本人	-	-	-
	住民・職場	-	-	-
	保健福祉医療関係者	1	-	1
	救急隊	-	-	-
	警察	67	-	67
	検察官	2	-	2
	矯正施設の長	23	-	23
	知事	-	-	-
	計	93	-	93

② 調査状況

(単位：件)

区分	申請			通報			計
	22 条	23 条	24 条	25 条	26 条	26 条の 2	
実件数	1	66	2	－	23	－	92
調査件数	1	66	2	－	23	－	92
診察件数 (27 条)	1	54	－	－	－	－	55
緊急措置入院数 (29 条の 2)	1	33	－	－	－	－	34

③ 診察状況

(単位：件)

区 分	大津市	市外	計
要措置	35	－	35
措置不要	20	－	20
計	55	－	55

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく措置入院の年次推移及び状況

① 年次推移

(単位：件)

年度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6
滋賀県	72	82	93	70	88	94	104	77
大津市	24	23	27	25	35	43	31	35

② 入院状況

(単位：件)

区 分	令和 5 年度末	本年度中増減		令和 6 年度末
		措置命令	措置解除	
男	2	26	22	5
女	2	9	7	2

(7) 医療保護入院の入院届、退院届、定期病状報告

(単位：件)

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6
入院届	542	468	508	477	535	465	433
退院届	534	465	492	509	525	530	514
定期病状報告	248	225	233	213	206	192	－
更新届	－	－	－	－	－	－	196

＊令和 6 年 4 月 1 日から医療保護入院の期間が法定化されたことより、令和 6 年 4 月 1 日より定期病状報告は廃止され、それに代わるものとして「入院期間更新届」が新たに作成されている。

(8) 自殺対策

令和2年度に策定した大津市自殺対策計画に基づき、誰も自殺に追い込まれることのないまちおおつの実現を目指し、下記事業に取り組んでいる。

平成21年度からは地域自殺対策緊急強化基金補助金、平成27年度からは地域自殺対策強化交付金を活用している。

事業名	内 容
各種会議	・大津市自殺対策庁内連絡会 令和6年8月21日 大津市役所 新館7階 特別会議室 ・大津市自殺対策連絡協議会 令和7年1月30日 ふれあいプラザ 中会議室
「いのちをつなぐ相談員」派遣事業	・協力病院を受診した自殺未遂者への「いのちをつなぐ相談員」による支援 協力病院：大津赤十字病院、市立大津市民病院、滋賀医科大学医学部附属病院、JCHO 滋賀病院、琵琶湖大橋病院、大津赤十字志賀病院 支援対象者：入院患者、外来初診・通院患者 支援対象者数：293人（今年度新規30人） 支援回数：3,691回（面接：236、訪問71、電話相談845、関係機関連絡1332 ケース会議44、SMS983、その他180） ・「いのちをつなぐ相談員」派遣事業医療連携会議 令和6年6月20日 大津市保健所 大会議室 ・県精神保健福祉センターと保健所との支援検討会：6回 ・協力病院での連絡会：4回 （市立大津市民病院：3/13、滋賀医科大学医学部附属病院：3/13、大津赤十字病院：3/26、大津赤十字志賀病院：3/26）
人材養成事業	・大津市自殺対策研修会（令和6年9月18日） 参加者数：30人 講話：「生き心地の良い地域づくりとは～日本一自殺が少ない町に学ぶ～」 方法：オンライン会議システム Webex 講師：情報システム研究機構 統計数理研究所 医療健康データ科学研究センター 岡 檀氏
普及啓発事業	・自殺対策強化月間（令和7年3月1日～31日） ハローワーク、男女共同参画センター、保健予防課、図書館、大津市社会福祉協議会で啓発マスク、連絡先や相談先が記載されたポケットティッシュを配布（図書館では関連書籍コーナーも設置）。 また、関西電力送配電株式会社、滋賀銀行、東レ、近畿健康管理センター、滋賀県農協健康保険組合には相談先が記載された啓発マスクを配布。 ・自殺予防週間街頭啓発（令和6年9月10日） 石山駅前にて啓発ポケットティッシュの配布 約1,000人 ・おおつ健康フェスティバルでの啓発 大津いのちまもり隊のまもるくんが自殺予防啓発メンタルチェック等を用いた啓発 参加者数：200

(9) 依存症対策

平成30年にギャンブル等依存症対策基本法が施行され、全国の保健所が依存症の相談窓口を担っている。大津市保健所においても、依存症の相談啓発に取り組んでいる。

① 依存症相談件数（訪問、面談、電話およびメール等）

	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	合計
令和4年度	238	24	5	4	271
令和5年度	174	24	6	3	207
令和6年度	222	49	21	2	294

② 普及啓発活動

・アルコール講座

市民に対し、飲酒に関わる様々な問題やアルコール健康被害に関する知識の普及と啓発を目的として、アルコール講座を開催した。

日	時	令和6年10月2日（水）14：00～16：00
場	所	大津市平野コミュニティセンター
講	演	「上手なお酒との付き合い方」 ～見直しませんか？お酒の飲み方～
講	師	特定非営利活動法人 いちごの会 リカバリハウスいちご北大阪 坂本 満氏

参加者数 19人

※講義内容の動画配信を令和6年11月1日（金）～11月30日（土）の期間に行った。視聴回数 148回

・ギャンブル等依存症問題啓発週間

市民に対し、ギャンブル等依存症問題に関する知識の普及と啓発を目的として、厚生労働省のギャンブル等依存症問題啓発週間に合わせて特設コーナーを設置。（チラシの配置およびポスター等の掲示）

日	時	令和6年5月14日（水）～令和6年5月20日（火）
場	所	大津市保健所入口前

8 健康被害

(1) 原子爆弾被爆者状況

「原子爆弾被害者に対する援護に関する法律」に基づく医療費の給付、各種手当の支給に関する申請窓口事務、健康診断、被爆二世に対する健診案内、訪問介護費用の公費負担申請窓口事務を実施している。

① 被爆者健康手帳交付状況・各種手当受給者状況（令和7年3月31日現在）

（単位：件）

	件数
被爆者健康手帳交付者数	80
健康診断受診者証交付者数	5
医療特別手当受給者数	4
特別手当受給者数	4
原子爆弾小頭症手当受給者数	-
健康管理手当受給者数	48
保健手当受給者数	7
保健手当（増額分）	-
介護手当受給者数	-

② 被爆者健康手帳所持者数年次別推移

（単位：件）

年度	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6
大津市	136	128	122	118	108	98	91	86	80
滋賀県	330	311	291	276	256	240	226	214	200

(2) 原子爆弾被爆者定期健康診断実施状況（単位：人）

	1 回目	2 回目	3 回目
対象者数	87	86	84
受診者数	12	6	8
受診率	13.8%	7.0%	9.5%
要精検者数	-	-	-

(3) 原子爆弾被爆者がん健康診断実施状況年次別推移

（単位：人）

年度	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6
対象者数	140	137	127	122	111	102	94	89	81
受診者数	19	18	7	17	9	14	15	16	13
要精検者数	3	3	-	3	3	3	4	6	2

(4) 原子爆弾被爆者二世健康診断実施状況年次別推移

（単位：人）

年度	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6
対象者数	94	110	125	133	131	125	127	130	131
申込者数	45	55	54	55	60	54	50	57	55

(5) アスベスト対策事業

アスベスト（石綿）による健康被害を受けられた方、又は、その遺族の方で、労働災害の対象とならない方に対して支給される救済給付の受付事務を実施している。

（単位：件）

年度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6
申請者数	-	2	-	2	-